

障がい別の職業的課題 就労支援上の留意事項（精神障がい）

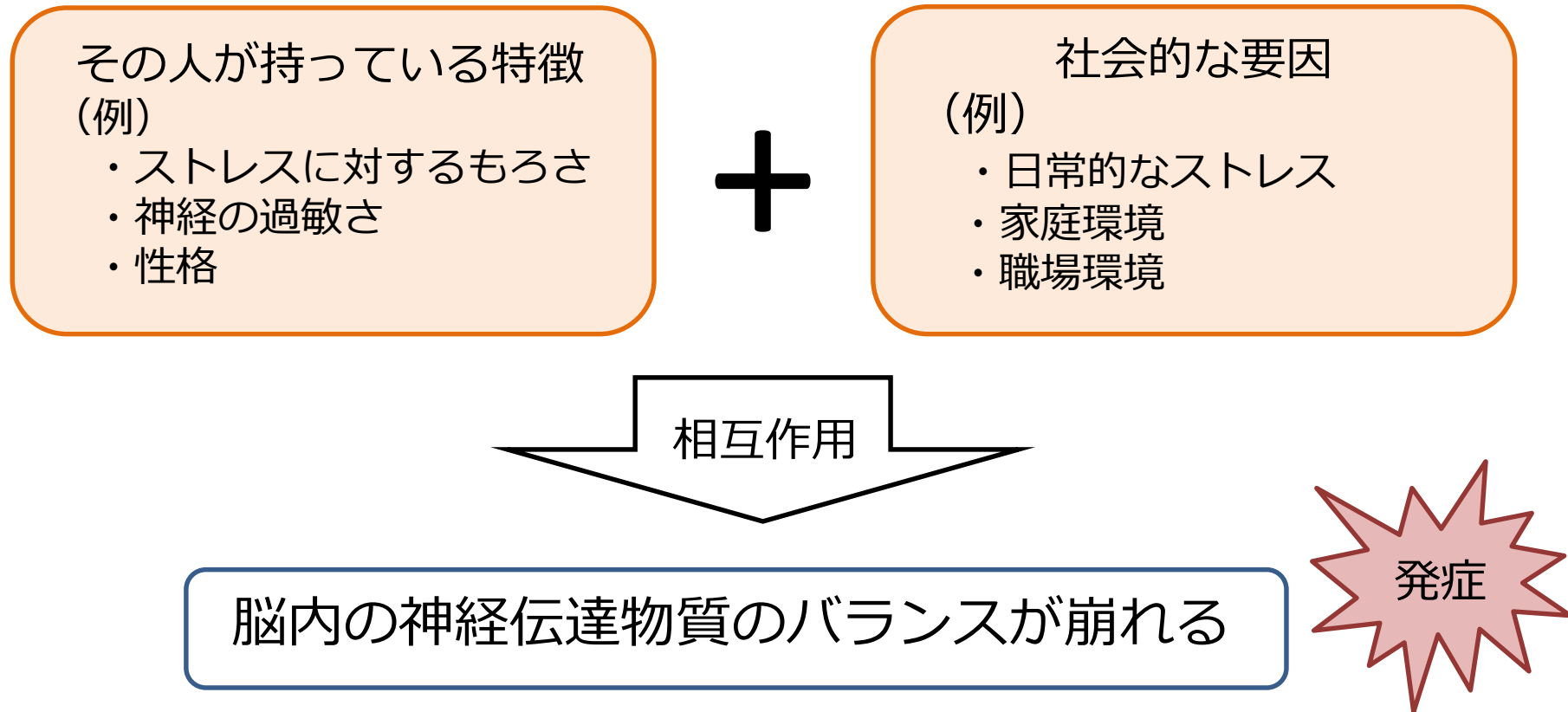
NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク

金塚 たかし

精神疾患の主な分類

- 器質性精神障害
アルツハイマー病、脳血管性認知症など
- てんかん
- 精神作用物質による精神・行動障害
アルコール依存症、薬物依存など
- 統合失調症
- 気分障害
うつ病、双極性障害
- 神経症性障害
不安障害、パニック障害など

精神疾患を引き起こすメカニズム



※ 神経伝達物質（意欲や気分を調整する物質）
セロトニン、ノルアドレナリン、ドパミン

精神疾患を引き起こす きっかけ

- 仕事の疲労
 - 職場の移動
 - 経済的な悩み
 - こどもの育児、教育・学校問題
 - 近親者の病気・死
 - 夫婦問題
 - 妊娠・出産
 - 精神的打撃
 - 身体疾患
 - 結婚
- など



病気にならざる得ない理由がある

気分障害における診断名

- うつ病
 - ・ 抑制の病～気分の落ち込みが中心
 - ・ 気分の日内変動が起こる
朝の気分が憂鬱、夕方にかけて改善
- 双極性障害（Ⅰ型、Ⅱ型）
 - ・ うつ状態と躁状態を繰り返す
 - ・ 抑制解除を特徴とする病
- 反復性うつ病性障害
うつ状態繰り返す
- 気分変調症
抑うつ的な症状が長期にわたる

うつ病の主な症状

【精神症状】

- 気分が沈む。気が重い
- 好きだったことが楽しめない。
- テレビ、音楽を聴いても楽しくない。耳に入ってこない。
- 何をするにも億劫。
- 会話・議論に集中できない。
- イライラしてじっとしてられない。
- 考えがまとまらない。献立が考えられない。
- このまま消えていなくなりたいと感じる。

【身体症状】

- 夜ぐっすり眠れず、朝早く目が覚める。
- 食事が進まず、美味しいと感じられない。
- 疲れやすく、体がだるい。
- 首すじや肩がこって仕方がない。
- 頭が重い感じがする。頭が痛い。
- 息が詰まって、胸が苦しい。
- 口が渇く。
- 下痢・便秘になる

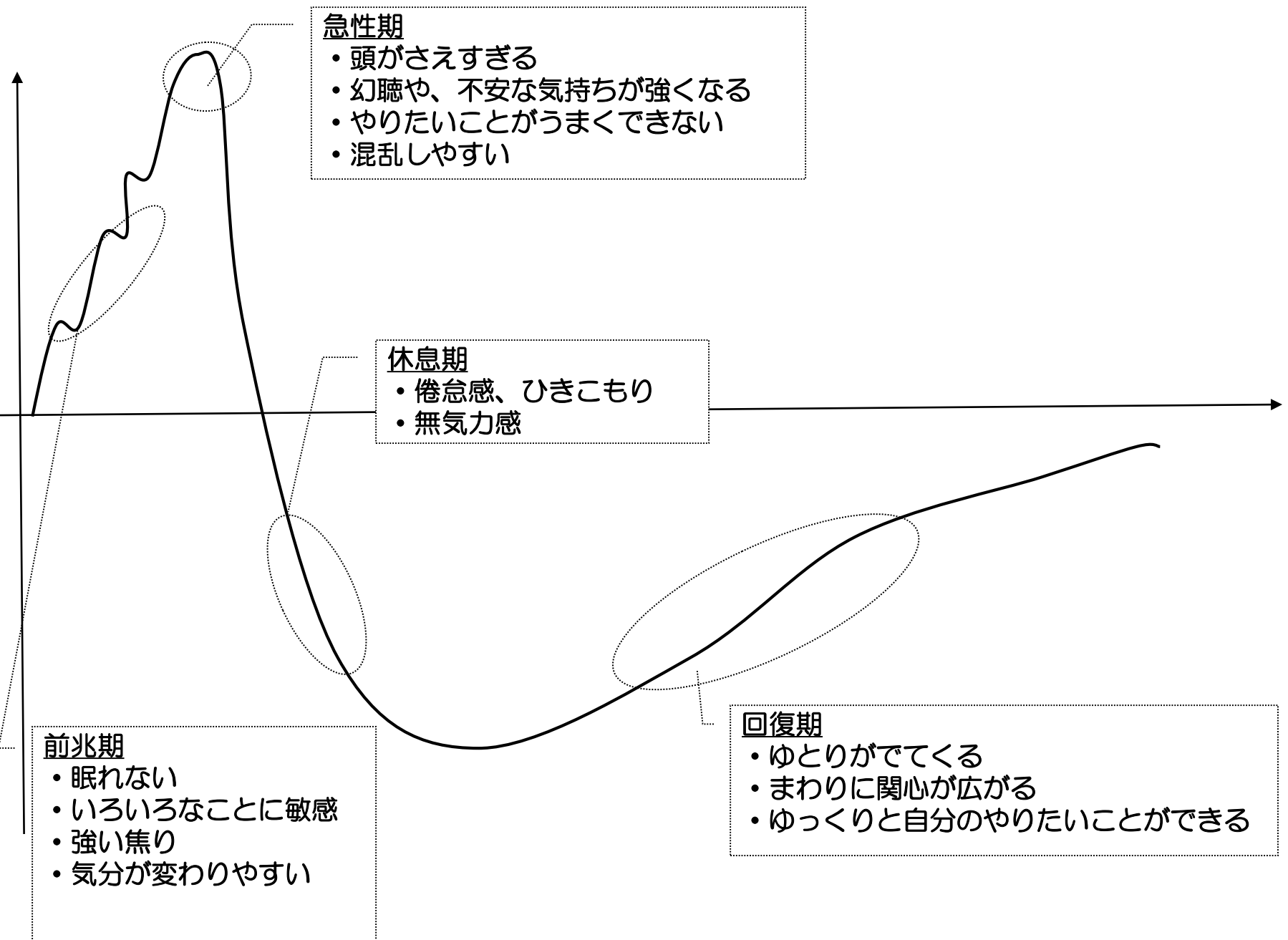
上記のような症状が日常的に続き、仕事や家事、学校生活に支障をきたす

統合失調症

- 思春期から青年期に発症が多い40歳頃までに発症
- 100人に1人が罹る病気
- 一人ひとりの病気
- 発病の原因ははっきりしない。ストレスへの脆弱性にある原因が加わると発病という説。脳の神経伝達物質に関係する、脳器質的要因という説。薬の効果があることから脳に何らかの原因があるといわれている。

統合失調症～症状について

- 陽性症状：急性期、再発時に多い症状
幻覚…幻聴、幻臭、幻視、幻触、体感幻覚
- 陰性症状：回復期、慢性期にみられる症状
感情鈍麻・感情の平板化
思考貧困…考えの広がりになく、会話の内容も発展性に欠ける。
意欲・自発性の低下
- 認知機能障害
選択的注意の低下
比較照合の低下
概念形成に低下



統合失調症の行動特性

〈昼田源四郎『分裂病の行動特性』金剛出版、1989年〉

- 1.一時にたくさんの課題に直面すると混乱してしまう
- 2.受け身的で注意や関心の幅がせまい
- 3.全体の把握が苦手で、自分で段取りをつけられない
- 4.話や行動に接穂(つぎほ)がなく唐突である
- 5.あいまいな状況が苦手
- 6.その場にふさわしい態度がとれない
- 7.融通がきかず、杓子定規
- 8.指示はそのつど、1つ1つ具体的に与えなければならない
- 9.形式にこだわる
- 10.状況の変化にもろい、特に不意打ちに弱い
- 11.慣れるのに時間がかかる
- 12.容易にくつろがない、つねに緊張している
- 13.冗談が通じにくい、堅く生真面目

統合失調症～障害について①

Q：「精神障害における『障害』とは？」

◆「疲れやすさ」「集中力・根気の低下」「認知機能低下」
～20kgの荷物

◆すぐ緊張する～要領が悪い・・・【場】
対人関係が苦手・・・【人】
自信が持てない・・・

統合失調症～障害について②

- ◆ 「車いす」にかわるもの～【安心感】
 - 安心して住める場所
 - 安心して働ける場所
 - 安心して憩えるところ
- ◆ 人から「大切」と思われること
 - 人から「必要」と思われること

精神障害者（統合失調症を中心に）の就労 ～知的障害者と比較して①～

- 「障害」は固定的なものではなく、変化する
 - • 病気、環境の変化、意欲等々
- 病気は揺れてあたりまえ
 - • いかにかのり越えるか
- 発病前の就労経験
 - • 例えば「実習」、給料、仕事内容、等
- 就労の動機-目的と「意欲」
 - • 「人生の重要な部分としての仕事？」

精神障害者（統合失調症を中心に）の就労 ～知的障害者と比較して②～

- 「安心感」

- ・ ・ 何でも、何度でも聞けること。
「対人関係」。

- 「新しい事への不安」と「自信」

- ・ ・ 「失敗しちゃいけない」、
時間がかかる、「はじめ」を乗り切る

- ★ 「鍛え上げる」イメージではなく

「思い出す～取り戻す」イメージで

精神障害者の苦悩

《病気》

理解されない・不眠・不安・症状（幻聴、幻覚等）

《社会の偏見》

疎外感・親戚、地域から疎遠・孤立・家族の苦しみ

《病気と共にの人生》

病気にならなければ・・・

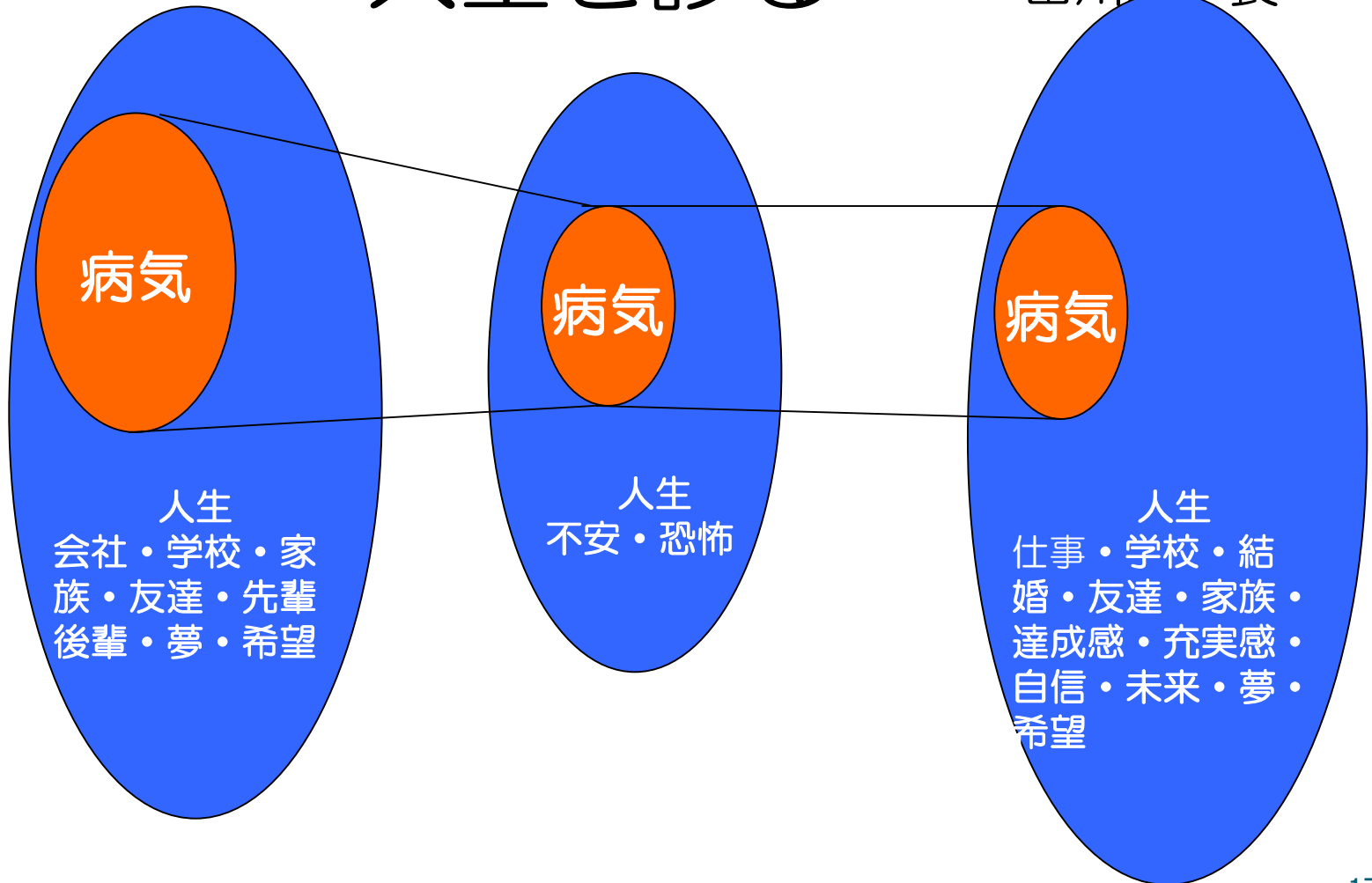
夢や希望を抱けない・・・

まとめ

- 病気と障害が混在している
- 中途障害である
- 障害が目に見えにくい
- 日常生活に波がある
- 社会的マイナスイメージ
- 障害の様相が多様である
- 人生を大きく左右してしまう病気

病気だけを診るのではなく 人生を診る

田川理事長



精神障害者の雇用促進のための就労状況等に関する調査研究（962件）

▽求人種類・障害開示・適応指導と12ヵ月時点の在職率

12ヵ月後の在職率 41, 5%

- | | | | |
|--------|--------|-----|--------|
| ・障害者求人 | 適応指導あり | 開示 | 70, 1% |
| ・一般求人 | 適応指導あり | 開示 | 63, 6% |
| ・障害者求人 | 適応指導なし | 開示 | 50, 5% |
| ・一般求人 | 適応指導なし | 開示 | 28% |
| ・一般求人 | 適応指導なし | 非開示 | 22, 9% |

支援の中でのキーワード

- 障害の開示・非開示（メリット・デメリットを具体的に）
- オーダーメイド（システムに合わせるではなく利用者にあわせる）
- 不安は出来るだけ早く軽減→安心感（1歩が踏み出せない人達）
- 失敗を体験・経験に（トライ＆エラー 1歩踏み出せた事を評価）
- モチベーションを維持するには（どのように動機づけをするか）
- 自己選択、決定、責任→自分の生活を自分で作る→エンパワメント
- 納得（動かない）
- 本物（企業、社長、当事者、医療、家族等々）→誰の話なら納得するか
- 無難に過ごさない（課題が表面化した時がチャンス→自己理解）
- 過去の自分を取り戻す（経験のない人は積み上げが必要）
- 休まない・帰らない（企業が一番困ること）
- 失敗させない支援（雇用前実習）
- **信頼関係**（利用者、関係機関の人たち・・・）